

この運動は、身近な自然空間である河川への国民の関心の高まりに応えるため、地域住民、市民団体と関係行政機関等による流域全体の良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進するとともに、国民の河川愛護意識を醸成することを目的としています。

水難事故講習会の開催

木津川上流河川事務所

今年度から河川愛護月間の7月1日～7月7日までを「水難事故防止週間」と位置づけ、水難事故防止に関する啓発活動を集中しておこなうこととなりました。

水資源機構木津川ダム総合管理所の協力の下、平成21年7月3日(金)に淀川水系名張川(三重県名張市)において、今後の水難事故防止啓発にあたって必要となる知識、技能の習得を目的とした河川担当職員向けの水難事故防止講習会を開催し、近畿地方整備局及び府県、政令市、名張市、水資源機構の職員合計14名が参加しました。

午前中は講師(RACTレーナー)から近年どんな事故が起こっているのか、また事故原因の解説等の講義が比奈知ダム管理所で行われ、午後は実際に名張川に入っただけの実地講習が行われました。

あいにく20度を下回る水温、降雨等で参加者は凍えながらの講習でしたが、河川巡視等で水難事故に遭遇した場合を想定し各々が講師の指示に従い、必要となる基礎的知識、技能を習得しました。



水難救助用具(スローバック)を用いた講習



実際に川に入って流れの強さなどを体験

※RAC(NPO法人川に学ぶ体験活動協議会)
全国各地の川で活動するNPO法人や市民団体で構成される協議会であり、同協議会において川に学ぶ体験活動を普及させるため、川の指導者を養成しています。

水生生物調査に参加

豊岡河川国道事務所

子供たちに川のことを知ってもらうことを目的に、河川愛護月間の行事として7月6日、7日に豊岡市立福住小学校、西気小学校の小学生により水生生物調査が実施されました。当調査には円山川を美しくする協議会(通称:円美協)により助成も行われています。この円美協はいわゆる水濁協であり、流域の朝来市、養父市、豊岡市の3市と兵庫県、整備局(豊岡河川国道事務所)他5団体で組織されています。

調査には、当事務所職員、円美協の会員も参加し、子ども達に円山川についての簡単な講義を行ったり、学校の先生方や講師の指導の下、共に川に入り調査に加わりました。7日には「川の日」のPRをすべく、調査実施場所にノボリ旗を上げました。先生は「7日って川の日なんですねー」とうなずかれています。また、川の指標生物のバインダーを配布し、調査に使用していただきました。

体操服で参加した子ども達でしたが、時間が経つにつれ水着を着ているかのような調査ぶりで、魚を捕まえるのに必死な子はずぶ濡れになっていました。

7日に行った稲葉(いなば)川は、最上流付近での調査でとても冷たい水に、「本当に生きものがいるのか」と心配に思う子もいたようです。講師が言われるには珍しいヘビトンボを捕獲できたようです。

この調査をとおして、たくさんの生きものを捕まえ、地元の自然を守っていきたいとする感想を持った子どもが多かったようです。



紀の川一斉清掃

和歌山河川国道事務所

今年も河川愛護月間行事として安全でゴミのない快適な紀の川を楽しむために、紀の川沿川自治体にも共催して頂き、7月12日(日)に岩出市、橋本市、7月18日(土)に紀の川市、7月26日(日)に和歌山市、かつらぎ町にて紀の川一斉清掃を実施しました。

毎年多くの方に参加していただいておりますが、今年も約4,100人の方が参加され、2トラック5台分のゴミを収集することができました。参加者からは「昔よりゴミが減って綺麗になった」との声もありますが、ゴミの中には自転車などの粗大ゴミも含まれており河川清掃の必要性を実感しました。

今後もゴミのない快適な憩いの場として楽しめる紀の川になるように、沿川の自治体や住民の方々とも協力し、紀の川一斉清掃を実施したいと考えております。

また、このほか五條市域で水生生物調査を実施しました。

和歌山市にて回収したゴミ



和歌山市の清掃